

地域における男女共同の視点からの 防災力向上研修

～性別に捉われない災害対応のために～



災害時には性別にかかわらず、避難者同士が協力して生活していかななくてはなりません。しかし、性別の特徴によってできること・できないことがあったり、配慮が必要な場面に遭遇したりすることがあります。

性別によるニーズの違いなどを考慮して地域の防災・減災を推進していくために、一緒に防災を学びませんか？

令和7年12月11日(木)

令和7年12月14日(日)(どちらも同じ内容です)

時間：各回13：30～16：00

会場：浜松市防災学習センター「はま防～家」
(浜松市中央区山下町192)

対象：各自主防災隊2名（役員1名＋防災女子1名）

※防災女子とは…防災に興味がある地域の女性の方ならOK。
自主防災隊員ではない方もOK。

講師：鈴木まり子氏（はままつnanet 代表世話人 事務局長）

参加費
無料

各回定員
15隊（30名）
応募多数時は
抽選

男女ペアで
申し込み



申し込みはこちらから

締切は令和7年10月24日（金）



<問い合わせ先>

浜松市危機管理課

電話 053-457-2537

メール：bosai@city.hamamatsu.shizuoka.jp

専用フォームが使えない場合にはご連絡ください。

タイムスケジュール

- 13:30～ 過去の事例から学ぶ
～女性視点が足りなかった被災地
熱海市伊豆山地区の土砂災害・能登半島地震の珠洲市の現場より～
- 14:40～ 災害時に地域で女性の視点を活かすためのワークショップ
- 15:30～ まとめ
- 16:00 閉会



講師紹介



鈴木まり子 氏

(主な活動)

- ・3.11東日本大震災から支援活動を開始。
- ・熱海市伊豆山土砂災害では、静岡県被災者支援コーディネーターとして避難所運営の支援に入った。
- ・令和6年能登半島地震では、石川県珠洲市に宿泊拠点を置き、ボランティア派遣などの支援活動を行っている。
- ・地元でも自主防災隊や自治会等と協働し、チャリティイベントや防災講座を開催。

(プロフィール)

- ・浜松市中央区在住
- ・浜松の企業が手をつなぐ災害支援ネットワークはままつna net事務局長
- ・有限会社タイキなくらし 取締役 (ファシリテーション事業部)
- ・静岡県防災会議委員、浜松市防災会議委員、静岡県被災者支援アドバイザー、静岡文化芸術大学兼任講師
- ・著書『ソーシャル・ファシリテーション「ともに社会をつくる関係」を育む技法』北樹出版

会場案内

浜松市防災学習センター「はま防～家」
(浜松市中央区山下町192)

最寄りのバス停「学芸高校前」

駐車場のスペースには限りがありますので、可能な限り公共交通機関のご利用や、乗り合いでのご来場にご協力ください。

